

白玉の齒にしみとほる秋の夜の
酒はしづかに飲むべかりけり

若山牧水

裏面もご覧ください。

十一月
生命の言葉

秋の夜長、ひとり静かに酒を飲み、来し
方行く末を思い人生を考える。みんな
楽しく飲む酒もよいが、心を清ましてひ
とり飲む酒はまた格別の味わいである。

『路上』

若山牧水（わかやまほくすい）

一八八五～一九二八年。歌人。本名・繁。宮崎県出身。
歌誌「創作」を創刊主宰し、浪漫的で清新な歌を数
多く残した。日本の美しい自然と季節の移ろいを詠
み、旅と酒をこよなく愛したことで知られる。

百舌が枯木でさえずるこの季節 皆さまに神のご加護がありますように

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮